第16回情報知識学フォーラム予稿

「いまAdobeが考える電子出版の制作フロー」

Adobe's Digital Publishing workflow

岩本 崇^{1*}

Takashi Iwamoto^{1*}

1 アドビ システムズ 株式会社

Adobe Systems Co., Ltd

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー

弊社がリリースしたばかりの新しい制作ツール「Adobe Digital Publishing Suite」を中心にプレゼン致します。

新しいAdobe Digital Publishing Suiteはクラウドサービスで提供をする、旧来とは異なる製品です。但しコンテンツを作成するツールは、多くの出版社様や印刷会社様で採用していただいているInDesignを中心です。旧来の紙ベースのワークフローを大きく崩すことなく、従来から制作やデザインに準じている方々にも容易に作成できるように開発をしました。実際の様に使い、どうコンテンツを作成するのかを実機でのデモを交えながらご紹介していきます。

またフォーマットとして、PDF,Flash,EPUB,FolioといくつかのフォーマットをInDesignでは作成が可能です。ユーザーはどのフォーマットで作成するのかを悩むことになるでしょう。でもどんなゴールを目指すのかで答えは見えてきます。それはそれぞれに得意不得意があるからです。

弊社は電子出版という広い言葉では「EPUBとFolio」をベースに考えております。電子書籍では「EPUB」が、リッチコンテンツでは「Folio」を活用していただきたいと考えております。あまり馴染みの「Folio」は上記のAdobe Digital Publishing Suiteで作成ができるフォーマットで、既に世界中で採用していただいております。700近いコンテンツがリリースされています。アメリカなどの電子出版の先進国だけでなく、ワールドワイドでコンテンツが生まれております。日本の出版社さんでも採用していただいている会社が複数有り、どんなコンテンツに向いているのか、そしてどんなモノが作れるのか、日本の事例も多く紹介したいと思います。

今回、日本での提供を開始したのは、Adobe Digital Publishing Suite の機能をそのまま利用できる標準的なエディションであるAdobe Digital Publishing Suite プロフェッショナル版で、日本の出版社や企業は動画や音声などを加えたインタラクティブ性の高いデジタルマガジンの制作や、自社ブランドのアプリケーションの提供を簡単に、そして迅速に行うことができます。

Adobe Digital Publishing Suite は、ホスティングサービスとビューワー技術で構成される電子出版向けのソリューションです。Adobe InDesign® CS5.5 / CS5 と緊密に統合されているので、使い勝手もよく、出版社に代表されるメディア企業や各種印刷物を手がける一般企業は、InDesign でデザインしたコンテンツに、さまざまなインタラクティブ機能を追加し、これまでにない新しい閲覧体験を読者に提供し、競争力の高いデジタルコンテンツの提供ができるようになります。制作も紙媒体と並行したフローでおこなえるので、効率的に多種多様な端末向けにデジタルコンテンツの提供が可能です。

Adobe Digital Publishing Suite では、紙媒体では実現できないインタラクティブなデジタ

ル広告の展開が可能となることから、広告出向効果の向上も期待できます。高機能なオンライン解析が標準機能として組み込まれているため、ユーザーの閲覧体験を自動的に収集、解析し、効果測定し、デジタルコンテンツや広告の最適化により収益化の向上を常に検証し、改善できます。販売モデルも柔軟な設定になっているので、出版社や企業は、iTunesAppStore や Android MarketPlace での単体アプリとしての販売、定期刊行物の号別の販売、定期購読への対応など個々のニーズにあわせて購入できます。

Adobe Digital Publishing Suite は、2010 年 10 月に発表されてから、既に世界各国600 以上のタイトルが、この最新ソリューションを使って発行されています。

Adobe Digital Publishing Suite は、以下のツールで構成されています。

- ・ Content Viewer : コンテンツ閲覧用ビューワー

Apple iPad 用、Android™用、BlackBerry PlayBook 用およびデスクトップ用の ContentViewer。Content Viewer は、iPad、BlackBerry PlayBook、Samsung Galaxy Tab、MotorolaXoom、今後登場してくる他の Android 機器など、さまざまなタブレット機器に対応。出版社や企業は、自社ブランドを冠したContent Viewer を作成し、自社の刊行物として、統一感のある外観と操作性による閲覧体験を読者に提供可能に。

- ・ Folio Producer Service : ファイル作成サービス

インタラクティブ機能を追加したFolio ファイルを共有・管理したり、タブレット機器向け

に発行するサービス。**Folio** ファイルをホスティングサービスにアップロードする操作は **InDesign CS5.5 / CS5** 上から直接実行可能。ホスティングサービス上では、コンテンツの編成と並べ替え、**Folio** や記事へのメタデータ追加、完成した**Folio** ファイルの直感的なプレビューも可能。**Folio Producer Service** は、**PDF** と**HTML5** を含む各種のファイル形式をサポート。

ADPSのアカウント（有償アカウント）

有償のアカウントユーザーの場合

無料の内容以外に、複数のワークスペース、コンテンツのアプリ化の申請などがおこなえる他、アプリケーションのインストール状況、**Folio** ファイルのダウンロードおよび購入状況など、あらかじめ用意されているダッシュボードで参照できます。

主なサービス

Distribution Service

ホストされたディストリビューションサーバーで、**Folio**形式でクロスプラットフォーム出版ファイルを格納し、様々な機器上のContent Viewerに出版物を配信します。

Analytics Service

Adobe Online Marketing Suite, powered by Omniture®との緊密な連携により、記事および広告コンテンツが読者や顧客へどのように伝わっているかを詳しく分析できます。

e-Commerce Service

主要なモバイルマーケットプレイスを通じて、または出版社のWebサイトから直接出版物を販売し、デジタルコンテンツを収益化します。

Viewer Builder Service

自社ブランドを印したContent Viewerを自動的に作成し、ユーザーの意図を刊行物やドキュメントのみに集中させることができます。

・Distribution Service：配信サービス

デジタルコンテンツを安全に保管およびホスティングし、主要なタブレット機器に配信して、幅広い読者に届けるサービス。提供するコンテンツへのメタデータの追加や、アーカイブ情報の管理も**Digital Publishing Suite** のダッシュボードから実行可能。

・e-Commerce Service：支払い・販売サービス

単一**Folio**、複数**Folio**、購読コンテンツのいずれも、出版社のWebサイトでの直接販売・配布と、**Apple App Store**、**Android Market**、**BlackBerry App World** など主要なモバイルマーケットプレイス経由での販売・配布に対応する柔軟性に優れた支払いおよび販売モデル。印刷版とデジタル版のバンドル販売による付

加価値の高い販促プログラムの作成や、タブレット機器にインストールされた雑誌アプリケーションからのコンテンツの直接購入も可能。

・Analytics Service：解析サービス

標準機能として組み込まれた**Adobe SiteCatalyst®**, powered by **Omniture®** による高機能のオンライン解析ソリューションが、コンテンツを閲覧したユーザーの体験を収集。ユーザーの閲覧体験の確認を、コンテンツの最適化に活用し、広告主に閲覧状況をフィードバックによる、広告収益を拡大が可能。

電子書籍の市場規模の推移と予測（2002年度～2015年度）

日本の電子出版市場は、電子出版サービスの市場規模は、2010年度の640億円から、2015年には3501億円にまで拡大すると予測されています。電子書籍端末の市場規模も2010年の113万台から2015年には693万台に、電子書籍端末の利用者も2010年度末の113万人から、2015年末には1,696万人に伸びると予測されています（株式会社MM総研調べ）。今回の**Adobe Digital Publishing Suite**の日本での提供開始により、アドビシステムズは日本のデジタルコンテンツ市場でのプレゼンスを高めると同時に、デジタル化への対応という変化のさなかにある出版社や企業が新しい閲覧体験で読者を獲得し、市場競争力を高めることを支援していきます。

製品に関する詳細な情報は以下のURL をご参照ください。

<<http://www.adobe.com/jp/products/digital-publishingsuite/>>

<http://www.adobe.com/jp/joc/design/guides/epub/epub01.html>

フォーマットについて

様々なフォーマットがありますが、Adobeとしては、電子書籍は「EPUB」をベースに、デジタルマガジン、電子カタログなどリッチコンテンツを取り扱う場合は「Folio」で作成することを考えております。

PDF や Flash という既にお馴染みのフォーマットも存在しますが、これが決してダメということではなく、レイアウト固定の誌面で十分であればPDFを活用いただいたり、表現力とカスタマイズなどを望むのであれば Flash という選択肢もあると思います。ただ、ユーザーのニーズを満たすコンテンツ、並びに使い易さを考えて、電子出版でのフォーマットは「EPUB」と「Folio」をベースにいずれも InDesign から書き出すことを想定しております。

参考サイト

Folio (ADPS) を知るサイト

<http://adobe-digipub.jp/>

InDesign での EPUB 機能サイト